

授業科目 ドイツ語 I

【担当教員名】 山田 容子	対象学年	1・2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	◎	◎

【概要】
ドイツ語の初歩を学習するとともに、ドイツおよびドイツ語圏の文化にもできるだけ詳しく触れる。

【学習目標】

- 1、文法機能を理解し運用する。
- 2、平易なテキストを理解する、表現する。
- 3、日常的な場面におけるコミュニケーションを図る。
- 4、学習項目を総合的に確認し身につける。
- 5、文化的な知識を増やす。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ドイツ語はどのような言葉か、身近なあいさつ	1.2.3	講義・グループタスク
2	アルファベート、アルファベートで綴る練習、発音と綴りの関係	1.2.3	講義・グループタスク
3	日常のあいさつ、自己紹介～名前を言う～	1.2.3	講義・グループタスク
4	自己紹介～出身地や住所を言う、規則動詞の人称変化、人称代名詞	1.2.3	講義・グループタスク
5	人を紹介する、規則動詞の人称変化、数詞	1.2.3	講義・グループタスク
6	自己紹介～専攻学科や学んでいること～、諸言語・諸国籍の表現	5	講義・映像鑑賞
7	自己紹介～何語を話すか～、身分・職業の語尾、曜日・月の表現	1.2.3	講義・グループタスク
8	自己紹介～趣味～、動詞の位置と語順	1.2.3	講義・グループタスク
9	自己紹介～好きなこと～、不規則変化動詞（幹母音の変化）	1.2.3	講義・グループタスク
10	否定文の作り方、時間帯の表現	1.4	講義・グループタスク
11	名詞の性、冠詞の使い方	4.5	講義・グループタスク
12	自己紹介～好きな食べ物・飲み物～、程度を表す表現	1.2.3	講義・グループタスク
13	自己紹介～家族について話す～、人を形容する言葉	1.2.3	講義・グループタスク
14	年齢表現、名詞の複数形	1.2.3	講義・グループタスク
15	まとめと試験準備	1.2.4	講義・演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	CD付き Szenen1 場面で学ぶドイツ語	佐藤修子、下田恭子、Heike Papenthin、Gesa Oldehaver	三修社	2014・2,900円+税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 コース終了時のテスト、復習ないし宿題、授業内課題、出席、授業態度等を総合的に評価する。	【履修上の留意点】 継続的な出席、積極的な授業参加、毎回の復習等がぜひ必要。
---	---